

プログラムを全面リニューアル!!!

e-ラーニング活用型

# 医療安全管理者養成研修

本研修は「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に準拠し、「医療安全対策加算」に該当しています

## 研修の特徴

- 杉山先生、河野先生らによる質の高い講義！
- 実務に活かせる分析手法研修が集合研修で受講可能！
- 医師・薬剤師など他職種の受講も可能！



e-ラーニング  
受講 **34** 時間

- いつでもどこでも  
お好きな時間で!
- 質問もできる!

集合研修  
受講 **8** 時間  
1日だけの研修参加!  
受講場所  
大阪府看護協会

主催

公益社団法人  
大阪府看護協会

共催

Gakken  
学研メディカルサポート

# 受講いただいた皆様からの声（一部抜粋）

この研修講義を何度も聞き返し、  
自部署での事故に対応できた

集合研修は e-ラーニングで  
事前学習でき、よく理解できた

介護でも活用できる内容や演習で  
現場でも活用できた



## その他にも

- 医療安全に関することは、業務管理すること全てに通じることだと痛感した
- 医療安全のさまざまな分析をモデルケースで体験できた
- 病棟の管理者として学べる内容が沢山あり満足できる研修だった

### 申込期間

**2023年5月1日(月)～6月30日(金)**

### e-ラーニング受講期間

2023年8月24日(木)～12月7日(木)

### 集合研修開催日

2023年12月14日(木)もしくは12月15日(金)

※2日間のうち、ご希望の日程で受講いただけます(先着順)

### 受講対象

1. 所属する医療機関で医療安全管理者の任にある者  
または今後医療安全管理者の任につく予定のある者
2. 保健師、助産師、看護師、その他医療従事者
3. 国家免許取得後の実務経験が5年以上ある者
4. 安全管理に関する知識を深め、キャリアアップを  
図りたい医療職の方
5. **e-ラーニング受講や課題を期限内に終了できる方**

### 受講料

会員 **34,000 円(税込)** 非会員 **50,500 円(税込)**

### 定員

100名

### 受講方法

e-ラーニングおよび集合研修1日参加

### 修了証の発行

公益社団法人大阪府看護協会より発行



研修概要と申込み方法は**こちら** 大阪府看護協会研修申込みサイト



<http://www.osaka-kangokyokai.or.jp/CMS/00366.html>

2023年度 医療安全管理者養成研修プログラム ~ e-ラーニング+オンライン演習~

講義：本紙赤枠表示内の指定時間を超える視聴、テストは選択式：80%以上の得点、記述式：提出が終了条件です。  
 e-ラーニングシステムの目次画面で、該当項目名の右側に受講済みマークがついたらチェックを入れましょう！  
 <講義を視聴してから受講済みマークが表示されるまで、数分かかる場合があります>



テーマ・内容	講義時間(分)	講師(敬称略)	受講済チェック欄		
			講義	テスト(選択式)	テスト(記述式)
<b>【e-ラーニング】</b>		冒頭挨拶：杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師）			
1 医療安全の基本的考え方と今後の展望	94	長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長長/患者安全推進部 教授）			
2 日本における医療安全施策の動向	62	栗原 健（厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 医療安全対策専門官/医系技官）			
3 医療安全管理者としての役割と心構えと組織マネジメント	72	杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師）			
4 医療業務の組織的な標準化と改善	90	横近 雅彦（早稲田大学 教授）			
5 医療安全とヒューマンファクターズ/ヒューマンエラーの防止活動～	58	小松原 明哲（早稲田大学 理工学術院 教授）			
6 事故発生メカニズムと事例分析	231	河野 龍太郎（自治医科大学 名誉教授、株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長/博士（心理学））			
7 医療安全に関するデータの収集と活かし方	61	松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授）			
8 医療安全教育の企画と方法	126	杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師）		テストおよび課題	
9 医薬品の安全管理					
9-a 医薬品安全管理責任者の位置づけと業務	13	堀 雄史（浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長/薬剤師）			
9-b 有事の対応/平時の活動/薬剤関連の患者誤認	92	梅村 朋（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 病院講師/薬剤師）			
9-c タスク・シフティングにおける薬剤業務	13	堀 雄史（浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長/薬剤師）			
10 医療機器の安全管理 ～生命維持管理装置を中心に～	97	青木 郁香（公益社団法人 日本臨床工学技士会 専務理事）			
11 臨床現場におけるエラーや事故とその対応					
11-a 診断エラー	33	高橋 英夫（東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 歯学学系専攻 全人的医療開発学講座 生体集中管理学 特任教授）			
11-b 臨床検査部門のエラーと対策	33	根本 誠一（株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 TQM統括室 安全管理センター）			
11-c 放射線部門でのリスク	28	阿部 真治（名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師長）			
11-d 経鼻栄養チューブの安全な挿入と管理	37	須田 喜代美（一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院 医療の質管理部 医療安全管理室 課長）			
11-e 転倒・転落	70	黒川 美知代（武蔵野赤十字病院 看護師長）			
11-f 連携・コミュニケーションエラー/検査結果の情報伝達についてのエラー	39	原田 賢治（国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授）		テストおよび課題	
11-g 臨床現場のインシデントの防止に向けて	43	黒川 美知代（武蔵野赤十字病院 看護師長）			
12 患者・家族とのパートナーシップによる医療安全					
12-a 患者参加の意義/方法/患者・家族とのコミュニケーションのポイント	63	山内 桂子（東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室 特別講師）			
12-b 患者・家族の視点/患者サポート体制の整備と医療対話推進者との連携	47	豊田 郁子（患者・家族と医療をつなぐNPO法人 架け橋 理事長）			
13 地域における医療安全					
13-a 地域連携の意義/方法/地域連携の実践	38	菅野 隆彦（JA長野厚生連 下伊那厚生病院 内科 部長/医療安全管理室 室長 南信州医療安全ネットワーク 代表）			
13-b 在宅での医療事故/介護施設での医療事故/地域での医療安全体制の構築	71	佐々木 淳（医療法人社団 悠翔会 理事長/診療部長）			
13-c 訪問看護にまつわる医療事故/地域連携による事故防止	41	高砂 裕子（一般社団法人 南区医師会訪問看護ステーション 管理者、一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長）			
14 医療安全における法的問題と重大インシデントへの対応					
14-a 医師法・保健師助産師看護師法看護師法/医療と裁判/患者の権利	95	長谷部 圭司（蒼法律事務所、社会医療法人 蒼生会 蒼生病院 医師/弁護士）			
14-b 重大インシデント発生時の対応/患者・家族への対応/職員への精神的支援	93	松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授）			
15 医療事故調査制度	81	長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長長/患者安全推進部 教授）			
16 医療事故情報収集等事業について	62	坂口 美佐（公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部）			
17 患者安全とガバナンス	58	上田 裕一（独立行政法人 奈良県立病院機構 理事長）			
18 安全文化の醸成に向けたチーム・コミュニケーション	81	種田 憲一郎（国立保健医療科学院 上席主任研究官）			
19 安全文化の醸成に向けて	65	鮎澤 純子（九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授）			
<b>【オンライン演習】</b>					
1 [6. 事故発生メカニズムと事例分析] の演習	240	河野 龍太郎（自治医科大学 名誉教授、株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長/博士（心理学））		演習	
2 [8. 医療安全教育の企画と方法] の演習 [11-f. 連携・コミュニケーションエラー] の演習	240	杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師） 原田 賢治（国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授）		演習	
<b>総時間数</b>	<b>2567</b>	<b>e-ラーニング34時間47分+オンライン演習8時間 = 研修時間合計42時間47分（テスト時間は含まず）</b>			

※ 教材内の講師情報は収録時のものです